



## 「鏡中図」 桜寧齋

1750年（寛延3年）

メ～テレ所蔵

縦34.9cm 横47cm 木版彩色

一見すると、女性が筒の中に座り、ゆがんだ男性と馬が脇にいる絵ですが、右下の の位置に刀の鞘を置いて映すと、あら不思議！波立つ川に行く船に琵琶をひく美女が乗り、貴公子が岸でながめる、満月の夜の景色に変わります。

これは「鞘絵」と呼ばれ、曲がった面に映すと普通の絵に見えるように考えて、ゆがめて描かれました。18世紀後半から流行しましたが、「鏡中図」（全7図）はその古い作例です。

（特別展「お江戸の遊び心」で展示）

## 特別展

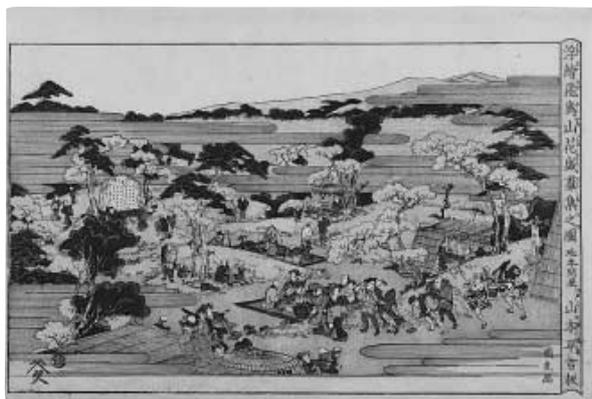
# お江戸の遊び心 メ〜テレ浮世絵コレクションから

2006. 4. 25(火)~ 5. 28(日)

メ〜テレ(名古屋テレビ放送)が所蔵する浮世絵コレクションは、浮世絵草創期の元禄初期版画から昭和の近代版画まで、2800件余、総数8000点以上にのぼり、質・量ともに国内有数の民間コレクションに数えられています。元朝日新聞社常務の矢島八洲夫氏が長い年月を費やして収集されたもので、貴重な名品とともに、江戸時代の庶民の暮らしや娯楽、また全国の名所や旅風俗を描いた作品がたくさん含まれています。

本展では、その中から、さまざまな遊びを描いた作品、絵そのものが遊びである作品103件を選び出して、「めぐる季節をおって」「おとなの遊び・こどもの遊び」「遊び心の浮世絵」の3部構成で開催します。取り上げる絵師は、春信にはじまり、歌麿・国貞・広重・北斎・国芳など約30名です。

江戸の人びとは、梅・桜・藤などの美しさを愛で、暑い夏には川遊びやほたる狩りに涼を求め、秋の月や紅葉、冬の雪見と、めぐる季節に合わせて遊びを生み出し、暮らしに変化と彩りを添えました。七夕などの五節句は生活の節目でしたし、寺社参詣、祭りや縁日、さまざまな玩具、歌舞伎・相撲などの見物も大きな楽しみ



国虎 浮世飛鳥山花盛群集之図

でした。そして、幕末になると戯画や風刺画が浮世絵の重要なジャンルとなり、知的な遊びを提供しました。こうした年中行事・風俗を描いた浮世絵や戯画などからは、江戸の町に暮らした人たちの遊び心が生き



国芳 江戸じまん名物くらべ  
今戸のやきもの

生きと伝わり、生きるパワー、暮らしのエネルギーを強く感じ取ることができます。

生活から季節感とゆとりが失われた現代ですが、これらの浮世絵をとおして、江戸の人たちの大らかな遊びの世界を感じ取っていただければと思います。博物館で目と心を遊ばせ、お江戸の人たちと心の豊かさを共有する一時をお楽しみください。

### 関連行事

- 親子おもちゃ作り講座 4月29日(土・祝)  
午前10時~12時  
山本キヨカズさん、森島はるえさん  
「江戸のからくりおもちゃを作る(王子狐)」
- 映画会 5月3日(水・祝)  
午前10時30分~・午後2時~  
「写楽」篠田正浩監督
- 曲独楽パフォーマンス  
5月5日(金・祝)午後1時30分~・午後3時~  
独楽太郎さん
- 寄席 5月13日(土)午後2時~  
柳家さん生師匠「居残り佐平次」ほか
- 講演会 5月21日(日)午後2時~  
岐阜大学教授 森田晃一さん  
「大江戸の四季と『遊び』」
- 展示説明会  
4月30日(日) 5月14日(日)・28日(日)  
いずれも午前11時~・午後2時~  
当館学芸員

## 特別展

# 体験・発見！弥生時代 2000年前の美濃の暮らし

2006. 7. 14(金)~ 8. 27(日)

皆さんは弥生時代についてどのように学ばれたでしょうか。稲作や鉄・青銅製品の伝播、集落の発展、権力者の登場と争い…。弥生時代は新しい文化の波により、人びとの生活が大きく変化した時代ですが、その受け入れ方は一様ではなかったようです。では実際、そのころの美濃はどうだったのでしょうか？

第1部では、最新の発掘調査成果を一堂に集め、美濃の弥生時代の実態に迫りたいと思います。美濃地域における弥生文化の特質を、弥生文化の伝播、集落の様子、精神世界、墓域の展開の4つの視点から探ります。

弥生文化は、九州から短期間の内に東海地方にまで広がっていきましたが、西濃から中濃地域までは条痕文系土器と共に前期弥生文化を代表する遠賀川系土器も確認されています。これらの土器をはじめとする資料を通じて集落の動向を探ります。

中期から後期になると遺跡の数も増え、各地に集落や墓域が確認されます。東海地方に特徴的なパレススタイル土器と呼ばれる赤彩土器が、大垣市・東町田遺跡や美濃市・古村遺跡、美濃加茂市・為岡遺跡の方形周溝墓を中心に出土しますが、一方で岐阜市・瑞龍寺山頂遺跡や美濃市・観音寺山遺跡など、船載鏡をもち山頂に築かれた単独のお墓も登場します。これらの平地の集団墓と山頂の単独墓をつうじて、美濃における権力者の登場を概観します。

第2部は弥生のくらしに焦点をあてて紹介します。道具を見るだけでなく触りながら当時の人の生活と知恵を学べるように各種の体験コーナーを用意しています。石丁や磨製石斧、土器や織機、農具など、弥生時代の道具を手にして使ってみると、教科書で知る弥生時代とは違った姿が見えてくるかもしれません。



大型船を描いた線刻絵画土器(大垣市・荒尾南遺跡)

(財)岐阜県教育文化財団 文化財保護センター提供

本展では瑞龍寺山頂遺跡から出土した内行花文鏡を初め、各遺跡のパレススタイル土器、人面文土器や大型船線刻土器などの絵画土器、そして岐阜市上加納出土の袈裟<sup>けさ</sup>襷<sup>だすき</sup>文銅鐸<sup>もんどうたく</sup>をはじめとする岐阜県内出土の銅鐸など、美濃の弥生時代を物語る資料が勢ぞろいします。今までとは違った弥生時代が発見できるのではないのでしょうか。

### 関連行事

石器を使おう！貫頭衣を着よう！など  
展示室内で毎日開催します。

午前9時30分～午後4時

石器を作ろう！ - 石丁と石のナイフ -  
7月23日(日)、8月5日(土)

午前10時～午後3時30分

美濃考古学研究会 吉田英敏さん・後藤信幸さん  
火起こし体験

毎週水曜日と8月12・19・26日の土曜日

午前10時～午後4時

親子の展示説明会

7月16日、8月6・20・27日の日曜日

午前11時～、午後2時～

当館学芸員

夏の子ども歴史教室

7月22・29日 親子で弥生時代の布を織ろう

8月3・4・20日 縄文・弥生の土器を作ろう

8月8・11・12日 青銅鏡を作ろう

まちなか博士サポート講座

8月13日(日) 午後2時～3時30分

「美濃の弥生時代」学芸員 高橋方紀

加藤栄三・東一記念美術館

## 風景との出会い

2006. 4. 25(火)~ 9. 3(日)

岐阜市美殿町で漆器商を営み、岐阜と大阪の船場に店舗を構えていた父：梅太郎、母：ためとの間に生まれた栄三（三男）・東一（五男）は、11人兄弟姉妹（六男五女）という多くの家族の中で高等学校までの多感な少年期を岐阜で過ごしました。

栄三・東一兄弟は、二人とも高等学校卒業後、父の仕事を手伝いますが商いが肌に合わず、家業を継ぐことを断念し、東京美術学校（現東京芸術大学）に進学。日本画家として画業に専念することになります。

栄三は花鳥画に、東一は人物画に多くの名作を遺しましたが、今回は特に風景を描いた作品に焦点をあて展示します。

二人の風景画の原点は、幼いころ遊んだふるさとの山河＝長良川・金華山の四季の変化を見つめ育ったところにあるように思います。ふるさと長良川の水の碧さ、金華山の木々の青さ、岐阜の空の蒼さが、多感な二人の心に焼き付いたのでしょう。

東一は1980年（昭和55）に長良川の源流から河口まで取材した「長良川流転」という素描展を行っています。その批評で美術評論家：河北倫明は次のように語っています。



東一作「高山祭り」

「この長良川周辺をあつかった一連の素描には、作者の情念のもっとも素純なものが、ふるさとの風物と共鳴しながら美しく溢れている。水の流れ、雲の動き。連山

には雲烟がかかり、河岸にはさわやかな風が渡る。雲が舞う長良川、落日の長良川、自然のさまざまな生きた変化が私どもの心をこまやかに揺すってくる。暗闇にきらめく鵜飼の篝火、それは生命の火のように哀しく美しい。同じような美しさは、郡上踊りの夜景にも通じ、さらに高山の華麗な祭礼にも沁みるように展開されている。その間には、流れるような墨一色の素描が快適なリズムを奏でている。作者もまた天性の素描家の系譜をひいているのだろう。」

この展覧会に出品された素描のほとんどは、ご遺族のご厚意により当館に寄贈いただいています。「長良川流転」で発表された素描・水墨画を展示しました。河北倫明が感じた気持ちを作品を通して理解してください。



栄三作「篝映」

栄三の作品は、旧・坂内村（現在は揖斐郡揖斐川町）に取材した「山の郵便局」、水郷風景を描いた「潮来」など昭和初期の風物を描いたもの。川合玉堂から助言をうけて描くようになったという「涼」「総がらみ」「篝映」などの鵜飼に取材した作品を展示します。

春夏秋冬と変化する日本のあざやかな四季の変化は、人々の心を動かし、自然と一体化して日本人独特の感性と美意識を育んできましたが、物質的豊かさが充足し、自然破壊とともに自然が人工化されていくなかで、日本人の生活環境が激しく変化し、この美意識も失われつつあります。

いま一度、栄三・東一の作品をとおして、四季の変化の素晴らしさとともに、日本の美を再発見していただければと思います。

なお、当館も開館15周年を迎えましたが、ロビーの床が痛んできましたため、6月中旬から7月中旬まで修復工事をします。その間、休館をします。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひいたします。

# シリア博物館事情

高木 洋

遺跡の国、シリア・アラブ共和国には、各地に国立の博物館があります。首都ダマスカス、第二の都市アレppo、世界遺産のパルミラ、ユーフラテス河沿いの都市デリ・ゾールなどです。ちょうど日本に東京、京都、奈良、そして最近開館した九州国立博物館があるようなものです。その他の中規模都市にも、それぞれの地域史を紹介する小博物館があります。

もともとシリアとは、四大文明の発祥地のうちの二つ、メソポタミアとエジプトの間の地域を指し、現在のシリア・アラブ共和国のほか、周辺のヨルダン・レバノン・イスラエル（パレスチナ）などを含んでいます。西は地中海に面し、東はペルシャ（現在のイランあたり）などに通じるというその位置の関係から、古来頻りに人びとや物資が行き来し、また紀元前二千年紀以降、周辺国による戦いと征服がくり返されてきました。これに高い山脈、大河、南部の砂漠などの自然的要素が加わって、この地には複雑な歴史が刻まれました。紀元前4世紀にアレクサンダー大王の武将が立てたセレウコス朝や、7世紀に成立したイスラム国家ウマイヤ朝を除いて、中世以前のシリアでは、独自に政治的統一が達成されたことがありません。



このような歴史環境の下にあるシリアの博物館では、たとえば日本のように、室町時代・戦国時代・江戸時代といった、時間の流れを追っていく教科書的な展示が難しいという事情があ



ります。この国の博物館を訪れた人は、順路の指定に従っているにもかかわらず、時間的な前後関係を見逃したような展示手法にとまどいを感じるかもしれません。これは、それぞれに特徴ある歴史をもった遺跡単位、王国単位に展示物が並んでいるためで、そのこと自体、この国の複雑で多彩な歴史の現われだといえます。

世界史的に重要な出土品を数多く収蔵するシリアの博物館ですが、問題がないわけではありません。第一に、これらの出土品の多くが、日本や欧米の調査団の手で発掘されたものであることです。外国の調査団は、シリア文化省の許可の下に発掘調査を行います。終了後に出土品をシリアに残すのはもちろん、展示ケースを作って陳列することまで条件になっています。諸外国調査による出土品の過半数が集まるアレppo博物館では、それぞれの国の言葉で書かれた解説板のとり扱いが問題になっています。さらに困ったことに、これらの発掘調査を担った研究者がすでに国内におらず、重要と思われる資料でも、どこからどんな状況で出土したか、分からなくなっているものがあります。

国家の予算を使わず、国立博物館の資料を収集・展示できるというのは、一見よくできたシステムのように見えますが、一方で、シリア人主体の発掘調査や博物館活動がなかなか前進しないという問題も生じました。さいわい3年ほど前に国立アレppo大学に考古学の講座が開設され、また日本の国際協力も、施設の建設などから技術協力主体へと重心を移す方針のようなので、5年後、10年後には、シリアの博物館はがらりと様変わりしているかもしれません。

(筆者は当館学芸員。JICA・国際協力機構を通じてシリア・アラブ共和国に派遣され、現在アレppo博物館で展示改善のためのボランティア活動に従事しています。)

# 博物館ニュース

## 博物館に新しく分室が誕生

平成18年1月1日の岐阜市と柳津町との合併に伴い、柳津町歴史民俗資料館が新たに岐阜市歴史博物館の分室となり、名称を柳津歴史民俗資料室と変えて出発することとなりました。

新しい分室は、若草色の屋根と桜色の壁の建物「もえぎの里」(岐阜市柳津町下佐波西1-15)の2階にあり、約100平方メートルの展示室と、約176平方メートルの収蔵庫から成り立っています。

これまで柳津町の資料館として、文化遺産を次の世代へと伝えていくため、地域住民・各種団体とともに企画や教育普及活動をおこない、文化財を収集保存してきました。展示室では柳津地域で盛んだった養蚕業を特に取り上げ、大正～昭和初期の養蚕関係用具や織機などを常設展示とし、並行して桜の写真展や文化財展などの特別展示を行いました。新年度からは、常設展示部分に養蚕関係資料・再現した教室風景の2種類を入れ替えながら、合わせて季節にふさわしい特別展示を開催する予定です。3月24日からは「思い出の小学校」として、教室風景と学校用具・教科書などを展示します。

これからも、歴史と文化に触れる学習の場、地域住民の交流の場となるような活動を行っていきたいと考えています。



## 入館者200万人を超える

3月11日(土)、当博物館は開館以来の入館者200万人目のお客様をお迎えすることができました。昭和60年(1985)11月1日にオープンしてから、ちょうど20年目にあたります。この日は企画展「ちょっと昔の道具たち」最終日の前日で、歴博亭土曜寄席も開催されました。「わくわくはらっぱ」で遊ぶ家族連れや、寄席の開演を待つ人たちでにぎわうエントランスホールで、200万人目の幸運を手にした大垣市からの



お客様に記念の美濃本蛇の目傘などが市長から渡され、他の来館者からも拍手を受けました。また、前後10名の方々にも岐阜提灯(大内行灯)や岐阜団扇コースターが贈呈されました。

新年度から、市内の小中学生は2階総合展示室(常設展)を無料でご覧いただけるようになりました。学校からの団体見学はこれまで無料でしたが、個人で来館しても無料となります。入館される時に受付で学校名をお教えてください。

## 特集展示

2階総合展示室では特集展示コーナーを設置し、1～2ヵ月ごとにテーマを設けて資料を紹介しています。4月から8月の日程は下記のとおりです。

- 5月14日(日)まで 美濃刀と美濃彫
- 5月18日(木)～6月18日(日) 美濃の南画
- 6月22日(木)～8月6日(日) 和傘と紙衣かみこ

# 平成17年度受贈資料一覧

平成17年度には、下記のみなさまに貴重な資料をご寄贈いただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

| 芳名（敬称略） | 資 料 名                             |
|---------|-----------------------------------|
| 浅井 秋子   | 狩野常信筆「西湖図」                        |
| 池田 末則   | 加納鉄哉書「鉄筆自在」                       |
| 伊奈波神社   | モシン・ナガン銃                          |
| 今井 宗久   | 郷土玩具類一式                           |
| 岩田 保    | 軍隊手牒など軍隊関係資料5件                    |
| 大野 恒治   | 人形など玩具・古文書・生活資料一括                 |
| 岡 豊三    | 往復はがき1通、東郷鉛筆4本、杓子便り2点             |
| 岡田 重久   | 『和田酒盛智勇兼備志』（中）                    |
| 奥村 静夫   | 古写真100枚、地券1枚                      |
| 織田かほる   | 松田亮コレクション（古文書および古書籍123件・考古資料208件） |
| 各務 玲子   | 各務支考関係資料13件                       |
| 川上 行洋   | 納涼観光大博覧会絵葉書など絵八ガキ8件               |
| 河口 勝己   | 衛生兵背囊及び軍装類一式                      |
| 川田 兼子   | 神風鉢巻、勤労報国隊腕章など戦時資料4点              |
| 國安 昌平   | 『岐阜市土地法典一』1冊                      |
| 香田 兼一   | 化粧品振売用箱1点                         |
| 神山 和江   | 『万宝増字節用』                          |
| 後藤 進    | 『本草綱目』（全巻）など、和本、刷り物類5件            |
| 後藤大八郎   | ゴブラン織タペストリー1点                     |
| 近藤 哲夫   | 寛永通宝など古銭67枚、愛国婦人会特別有功章1点          |
| 杉山 拓生   | 竹槍、木銃など、戦時及び近代生活資料5件              |
| 杉山 有三   | 杉山商店看板、温度計など、商業資料7点               |
| 関戸 脩    | 雛人形1組、節句人形1組                      |
| 関谷 性二   | ブリキ看板、氷織など商業資料5点、                 |
| 高木 秀雄   | 七墓連中ちょうちん3張、本13冊、おくみさま1冊          |
| 高橋 茂美   | 写真・アルバム                           |
| 田辺 信行   | 菜種搾り器1点、菜種割り器1点                   |
| 津田 裕子   | 塩谷鶴平筆掛幅2幅                         |
| 道家 成法   | 戦利兵器奉納ノ記1点、砲弾2点                   |
| 豊田 元樹   | 豊田仁三郎氏使用の教科書一括                    |
| 西垣 久子   | 柳細工トランク1点、柳細工バスケット1点              |
| 西堀預志子   | 裁縫用 丁、電気アイロンなど、近代生活資料10件          |
| 野田喜野恵   | 「警告」ポスター1枚                        |
| 林 良一    | キセル型看板・彫刻見本図案集                    |
| 早瀬 克夫   | 風呂桶屋道具一式                          |
| 久屋町自治会  | 秋葉神社屋根神1基                         |
| 廣瀬      | 着物2点、和箆笥2棹                        |
| 水野 耕嗣   | 名和昆虫博物館記念館実測図10葉                  |
| 水野 政子   | 東洋拓殖株など株券17枚、ドイツ紙幣11枚、金鷄勲章1点      |
| 宮部 禎一   | 飯盒1点、軍隊写真12点                      |
| 宮部 春男   | 名古屋新聞（昭和16年）・大阪毎日新聞（昭和7年）         |
| 村岡 鶴雄   | 藍襦1点                              |
| 村瀬 和子   | 古文書72件                            |
| 村田 賢二   | 東芝電子レンジER-601、1台                  |
| 柳原 茂男   | 古文書14点                            |
| 山内 英司   | 『美濃奇観』（上）・『見聞雑記』                  |
| 山口 幸男   | 通知票など教育関係資料6点                     |



# 館蔵資料紹介



太刀 銘 景依造

重要文化財 伊奈波神社蔵（当館寄託）

鎌倉時代 長77.3cm 反り3.3cm

備前国長船派の刀工、景依によって作られた鎌倉時代中頃の太刀です。昭和8年（1933）に岐阜市の伊奈波神社に奉納されました。

備前国（現在の岡山県東部）は平安時代以降江戸時代まで、国内最大の刀剣生産地でした。たくさんのお名工を輩出し、数々の名刀が生み出された地でもあります。なかでも吉井川の下流に位置する長船は、鎌倉時代中期から室町時代を通して多くの刀工が集まり最も繁栄しました。景依はその長船派の刀工で、鎌倉時代の中頃に活躍した人物であると思われます。

刃文はほぼ直線状でところどころ緩やかに波打ち、<sup>しがね</sup>地鉄は折り返して鍛錬した鋼が細かい板目になってあらわれています。鎌倉時代中期以降、刀の形が変化し、それまでよりも幅が広く力強い印象を受けるようになります。しかし、この太刀はそれよりもやや古い時期の特徴を引き継ぎ、全体的に細身で切先が小さく腰反りが強く見える姿をしています。この時代に作られた太刀は後の室町時代になると持ち手の部分が切られ、全体の長さを短くして使われることが多いのですが、この太刀は「<sup>うなかご</sup>生ぶ茎」で、作られた当時の姿をそのまま保っています。

棟には戦闘によってついたと思われる切込みが残されています。上品で優美な姿の一方で、武士の隆盛を感じさせる歴史を持った太刀でもあるのです。



\*\*\*\*\*

## 利用の御案内

**開館時間** 午前9時～午後5時  
（入館は午後4時30分まで）  
**休館日** 毎週月曜日と祝日の翌日（月曜日が休日の場合は翌日）  
特別展期間中は変更することがありますのでご注意ください。

### 観覧料

歴史博物館常設展、加藤栄三・東一記念美術館  
高校生以上300円（団体240円）  
小・中学生150円（団体90円）  
両館共通で観覧される場合  
高校生以上500円（団体400円）  
小・中学生250円（団体150円）  
団体は20人以上、市内の小・中学生は無料  
**特別展** そのつど定めた金額

**交通案内** JR岐阜駅・名鉄岐阜駅より、岐阜バスで「長良方面行き」に乗り、「岐阜公園・歴史博物館前」で下車、すぐ東に歴史博物館があります。  
公園内ロープウェイ乗り場すぐ隣に加藤栄三・東一記念美術館があります。

博物館だより 62 2006.4  
編集・発行 岐阜市歴史博物館  
〒500-8003 岐阜市大宮町2-18-1 ☎058(265)0010  
（分館）加藤栄三・東一記念美術館  
〒500-8003 岐阜市大宮町1-46 ☎058(264)6410



古紙配合率100%再生紙を使用しています